

登録番号 第 20811 号

スタークル®顆粒水溶剤 (JA)

- 散布、灌注、セルトレイ処理など、多くの作物の様々な使用方法に対応できる、使い勝手の良い殺虫剤です。
- 植物体内に浸透移行して速やかに効果を発揮します。
- 野菜のコナジラミ類、果樹のコナカイガラムシ、カメムシ類に高い効果を示します。

有効成分	ジノテフラン (化管法第1種) ……20.0%	包装	100g×50
その他化管法該当成分	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (アルキル基C=10~14及びその混合物) (化管法第1種) ……1.8%		500g×20
性状	淡青緑色水溶性細粒	有効年限	5年
毒性	普通物*	危険物	-

*普通物：「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用害虫及び使用方法】

2021年12月22日付内容

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	-	カメムシ類	2000倍	60~150 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
		ウカ類 ツマグロヨコバイ	3000倍					
水田作物、畑作物 (休耕地)	珉、柁、スズ、セウカワ、ワヂウ等の多年生雑草が優占している休耕地	カメムシ類	2000倍	60~150 L/10a	-	3回以内	散布	3回以内
とうもろこし (子実)	-	ムギクビレアブラムシ カメムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
未成熟とうもろこし	-	アブラムシ類 カメムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
もも	-	モモヨウキリゾウムシ アブラムシ類 モモクワガタ シクイムシ類 カメムシ類	2000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
ネクタン	-	モモホクリゾウムシ アブラムシ類 モモホクリガ シンクイムシ類 カメムシ類	2000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
おうとう	-	オトウシヨウジヨハエ カメムシ類	2000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
かき	-	カメムシ類 コカクハラムシ類 カキハラムシガ アザミヤカ類	2000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (塗布は1回以内、 散布は3回以内)
マンゴー	-	チャクイロアザミヤカ	2000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
小粒核果類	-	アブラムシ類 カメムシ類 シンクイムシ類	2000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
ぶどう	-	カメムシ類 ブドウカミキリ	2000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内 (塗布は1回以内)
		フデヒメコバイ	3000倍					
		チャクイロアザミヤカ コカクハラムシ類	1000~ 2000倍					
あけび (果実)	-	カメムシ類	2000倍	200~700 L/10a	収穫14日前 まで	2回以内	散布	2回以内
キウフルーツ	-	カメムシ類	1000~ 2000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
びわ	-	カメムシ類 ヒメジラミ	2000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
りんご	-	アブラムシ類 キンモノガ シンクイムシ類 キンモノホクリガ コカクハラムシ類 カメムシ類	2000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
なし	-	アブラムシ類 シンクイムシ類 カメムシ類 ケムシ類 コカクハラムシ類 チュウゴクシジラミ	2000倍	200~700 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
かんきつ (苗木)	-	シノホクリガ	50倍	100 mL/株	育苗期	5回以内	株元 灌漑	5回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
かんきつ	-	チャクイロアザミウマ コカイトラムシ類	1000～ 2000倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
		ゴマダラキリ	1000倍					
		アブラムシ類 ミカンモグリガ カメシ類 コアオナムグリ ケキスイ類 シバエ アカマカイトラムシ ヤノコイトラムシ サンホセカイイトラムシ ミカンギシラミ コジラミ類 チャノトリヒメヨコバイ アオバノゴロモ	2000倍					
オリーブ	-	カメシ類	2000倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	2回以内
ばれいしよ	-	ワタアブラムシ	2000倍	100～300 L/10a	収穫7日前 まで	2回 以内	散布	2回以内
かんしよ	-	アブラムシ類 コジラミ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫3日前 まで	1回	散布	1回
トマト	-	カメシ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	5回以内 (培土混和及び灌注は 合計1回以内、 育苗期の株元散布は 1回以内、 定植時の土壌混和は 1回以内、 散布及び定植後の 株元散布は 合計2回以内)
		コジラミ類	2000～ 3000倍					
		コジラミ類	100倍	セル成型育苗 トレイ1箱 またはパ ーポット1 冊 (30×60cm・ 使用土壌約 1.5～4.0L) 当り0.5L	鉢上時 又は定植時	1回	灌注	
ミニトマト	-	カメシ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	5回以内 (培土混和及び灌注は 合計1回以内、 育苗期の株元散布は 1回以内、 定植時の土壌混和は 1回以内、 散布及び定植後の 株元散布は 合計2回以内)
		コジラミ類	2000～ 3000倍					
		コジラミ類	100倍	セル成型育苗 トレイ1箱 またはパ ーポット1 冊(30× 60cm・使用 土壌約1.5 ～4.0L)当 り0.5L	鉢上時 又は定植時	1回	灌注	

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
ブロッコリー	-	アブラムシ類 コガネ	100倍	セル成型育苗 トレイ1箱 またはパー ポット1 冊(30× 60cm・使用 土壌約1.5 ～4.0L)当 り0.5L	定植時	1回	灌注	3回以内 (定植時の土壌混和 及び灌注は 合計1回以内、 散布及び 無人航空機散布は 合計2回以内)
		アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～300 L/10a	収穫3日前 まで	2回 以内	散布	
はくさい	-	アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～300 L/10a	収穫3日前 まで	2回 以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和 及び灌注は 合計1回以内、 散布は2回以内)
		キジナミハムシ ダイコンハムシ	2000倍					
ピーマン	-	コジラミ類	2000～ 3000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	3回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の 土壌混和は 合計1回以内、 散布及び定植後の 株元散布は 合計2回以内)
		アブラムシ類	3000倍					
		アザミヤカミ類	2000倍					
なす	-	コジラミ類	2000～ 3000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	3回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の 土壌混和は 合計1回以内、 散布及び定植後の 株元散布は 合計2回以内)
		アブラムシ類	3000倍					
		アザミヤカミ類	2000倍					
すいか	-	アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～300 L/10a	収穫7日前 まで	2回 以内	散布	4回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の 土壌混和は 合計1回以内、 定植後の株元散布は 1回以内、 散布は2回以内)
とうがらし 類	-	コジラミ類	2000～ 3000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	4回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の 土壌混和は 合計1回以内、 定植後の株元散布は 1回以内、 散布は2回以内)
		アブラムシ類	3000倍					
		アザミヤカミ類 ナスバエ	2000倍					

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
とうがらし(葉)	-	コジラミ類	2000～3000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)
		アブラムシ類	3000倍					
		アザミヤカ類	2000倍					
かぼちゃ	-	アブラムシ類 コジラミ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和及び育苗トレイへの 灌注は合計1回以内、 散布は2回以内)
		アブラムシ類	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0L)当り0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	
にがうり	-	コジラミ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)
セリ	-	アブラムシ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)
うり類(漬物用)	-	コジラミ類 アザミヤカ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)
		アブラムシ類	2000～3000倍					
ズッキーニ	-	アブラムシ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、 定植後の株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
きゅうり	-	コジラミ類 アブラムシ類	2000～3000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の 土壌混和は合計1回以内、 定植後の株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
		アザミヤカ類 ウリハムシ カミシ類	2000倍					
まくわうり	-	アブラムシ類	3000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
メロン	-	コジラミ類	2000～3000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
		アザミヤカ類	2000倍					
		アブラムシ類	3000倍					
キャベツ	-	アブラムシ類 コガ アオムシ ハイダマシ/ナメカ	50～100倍	セル成型育苗トレイ1箱またはパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約3L)当り0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	3回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
		アブラムシ類	2000～3000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	
だいこん	-	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	5回以内 (は種時の播溝土壌混和は1回以内、は種時の全面土壌混和は1回以内、粒剤の散布は1回以内、水溶剤の散布、液剤の散布及び無人航空機散布は合計2回以内)
		ダイコンハムシ	2000倍					
		キヌダノミハムシ	1000倍					
わさび	-	アブラムシ類 ナメコハムシ	2000倍	100～300 L/10a	畑育苗期	3回以内	散布	3回以内
畑わさび	-	アブラムシ類 ナメコハムシ	2000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
クレソン	-	アブラムシ類	3000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
レタス	-	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	4回以内 (は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
		ハスモンヨトウ	50倍	セル成型育苗トレイ1箱またはパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0L)当り0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	
		アブラムシ類 ナメコハムシ	50～100倍					

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
非結球ナス	-	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	4回以内 (は種前の培土混和は1回以内、 育苗期の株元散布、 定植時の土壌混和 及び育苗トレイへの 灌注は合計1回以内、 散布は2回以内)
		ハスモンヨトウ	50倍	セル成型育苗 トレイ1箱 またはパー パポット1 冊(30× 60cm・使用 土壌約1.5 ～4.0L)当 り0.5L	定植前日～ 定植時	1回	灌注	
		アブラムシ類 ナメグリハエ	50～100倍					
ねぎ	-	アザミヤカ類 ハメグリハエ類 シロイモシヨトウ タネハエ ネギカガ	50倍	セル成型育苗 トレイ1箱 またはパー パポット1 冊(30× 60cm・使用 土壌約1.5 ～4.0L)当 り0.5L	定植前日～ 定植時	1回	灌注	4回以内 (は種時の土壌混和、 育苗トレイへの灌注 及び定植時の 株元散布は 合計1回以内、 生育期の株元灌注は 1回以内、 散布、無人航空機 散布及び定植後の 株元散布は 合計2回以内)
		アザミヤカ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	
		アザミヤカ類 ハメグリハエ類 トビイロヒョウタンゾウムシ	400倍	0.4L/m ²	生育期 但し 収穫14日前 まで	1回	株元 灌注	
		クロハネキノコハエ類 アザミヤカ類	1000倍	1L/m ²				
わけぎ	-	アザミヤカ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	4回以内 (定植後の株元散布は 1回以内、 生育期の株元灌注は 1回以内、 散布は2回以内)
		アザミヤカ類 ハメグリハエ類	400倍	0.4L/m ²	生育期 但し 収穫14日前 まで	1回	株元 灌注	
にんじん	-	アブラムシ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	4回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、 生育期の株元灌注は 1回以内、 散布は2回以内)
		トビイロヒョウタンゾウムシ クロハネキノコハエ類	400倍	0.4L/m ²	生育期 但し 収穫21日前 まで	1回	株元 灌注	
しゅんぎく	-	アブラムシ類	3000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時及び定植時の 土壌混和は 合計1回以内、 散布は2回以内)

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
チゲンサイ	-	キジノシムシ	2000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時及び定植時の 土壌混和は 合計1回以内、 散布は2回以内)
		アブラムシ類	3000倍					
ほうれんそう	-	アブラムシ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、 散布は2回以内)
		ウラムシトキ						
非結球あぶらな科葉菜類 (チゲンサイ、畑わさびを除く)	-	アブラムシ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内(は種時の 土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)
		キジノシムシ	2000倍					
かぶ	-	アブラムシ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、 散布は2回以内)
		キジノシムシ	2000倍					
だいず	-	カムシ類 ダイズサヤマハエ	2000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、 散布、無人航空機 散布は合計2回以内)
		フタジヒムシ	3000倍					
あずき	-	アブラムシ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
豆類 (未成熟、 ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、未成熟さやげ、未成熟そらまめを除く)	-	アブラムシ類 ハメガリバエ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
えだまめ	-	カムシ類 アブラムシ類 ハメガリバエ類 ダイズサヤマハエ	2000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、 散布、空中散布、 無人航空機散布は 合計2回)
		フタジヒムシ	3000倍					
未成熟そらまめ	-	アブラムシ類 ハメガリバエ類 カムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
未成熟ささげ	-	アブラムシ類 ハモグリバエ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
実えんどう	-	アブラムシ類 ハモグリバエ類 ウナミジミ カムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
さやえんどう	-	アブラムシ類 ハモグリバエ類 ウナミジミ カムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
さやいんげん	-	コジラミ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類 カムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
モロヘイヤ	-	アザミヤカ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
オクラ	-	アブラムシ類 フタテンノトリヒメコバエ	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
しょうが	-	クハバネノコバエ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
らっきょう	-	アザミヤカ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
にら	-	クハバネノコバエ類	1000倍	1L/m ²	生育期 但し 収穫14日前 まで	1回	株元 灌注	3回以内 (生育期の株元灌注は1回以内、 散布は2回以内)
		ネアザミヤカ	400倍	0.4L/m ²				
		ネアザミヤカ アブラムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
アスパラガス	-	アザミヤカ類 ジュウホシクビガハムシ コジラミ類 カムシ類	2000倍	100~800 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
てんさい	-	アブラムシ類 テンサイイガラハバエ	2000~ 3000倍	100~300 L/10a	収穫7日前 まで	2回 以内	散布	3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)
		カメコハムシ	1000~ 2000倍					
		カメコハムシ テンサイイガラハバエ テンサイヒメハムシ	100~ 200倍	5L/ペーパー ポット6冊 (2.5L/m ²)	移植前	1回	灌注	
		アブラムシ類 テンサイイガラハバエ テンサイヒメハムシ	100~ 240倍	6L/ペーパー ポット6冊 (3L/m ²)				

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
きゅうり(葉)	-	コジラミ類 アブラムシ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
きゅうり(花)	-	コジラミ類 アブラムシ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
バジル	-	コジラミ類 アブラムシ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
しそ科葉菜類(しそ、バジルを除く)	-	アブラムシ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
しそ(花穂)	-	アブラムシ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
しょくようほおずき	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用ニハバラ	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用カーネーション	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用金魚草	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用パンジー	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用トリア	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用なでしこ	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用プリムラ	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用エサカバ	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用せんいちこう	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用コスモス	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用ぎく	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)
しそ	-	アブラムシ類 ウハムシトビキ	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
なんてん(葉)	-	アブラムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
すいぜんじな	-	アブラムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
アマランス(茎葉)	-	アブラムシ類	3000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
ふき	-	コジラミ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 (土壌表面散布は1回以内、 散布は2回以内)
せり	水田	アブラムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
せり(水耕栽培)	ガラス室等の施設	アブラムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
ホーブ(葉)	-	カメシ類	2000倍	200~700 L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
茶	-	チャノボガ チャノミドリヒメコバエ チャノキイロアザミウマ ツマグロアサカサメ コミカンアブラムシ	2000倍	200~400 L/10a	摘採7日前まで	2回以内	散布	2回以内
さとうきび	-	アブラムシ類 カシヤコハネカメシ サトウキビヒメアザミウマ	2000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	5回以内 (粒剤は2回以内、 液剤、水溶剤及び水和剤は 合計3回以内)
いね科牧草	-	アブラムシ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
花き類・観葉植物(きくを除く)	-	アブラムシ類 コジラミ類	2000~3000倍	100~300 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (土壌混和は1回以内)
		ハモグリバエ類	1000倍	1L/m ²			灌注	
きく	-	アブラムシ類 コジラミ類	2000~3000倍	100~300 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (土壌混和は1回以内)
		カメシ類	2000倍					
		ハモグリバエ類	1000~2000倍	1L/m ²			灌注	
樹木類(つつじ類、つばき類を除く)	-	ケムシ類	2000倍	100~700 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
つつじ類	-	ツツジゲンハイケムシ類	2000 倍	100~300 L/10a	発生初期	5 回以内	散布	5 回以内
つばき類	-	ケムシ類	2000 倍	100~700 L/10a	発生初期	5 回以内	株元 灌注	5 回以内 (株元灌注は 2 回以内)
		チャドカス	100 倍	0.5~2L/樹 (但し、220 L/10a まで)		2 回以内		
いぐさ	-	イグサシロムシ	1000 倍	100~150 L/10a	発生初期	2 回以内	散布	2 回以内

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
かき	コカガラムシ類	20~40g/樹	発芽前~ 発芽期	1 回	本剤 1g 当り水 1mL の割合で混合し、主幹から主枝の粗皮を環状に剥いた部分に塗布する。	4 回以内 (塗布は 1 回以内、 散布は 3 回以内)
ぶどう	コカガラムシ類	20~40g/樹	幼果期まで 但し、 収穫 30 日 前まで	1 回	本剤 1g 当り水 1mL の割合で混合し、主幹から主枝の粗皮を環状に剥いた部分に塗布する。	3 回以内 (塗布は 1 回以内)
	クビアカサバ	40g/樹				

使用上の注意事項

- (1) 使用量にあわせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) ぶどうの幼果期から果粒肥大期の散布は果粉の溶脱のおそれがあるので使用をさけること。
- (3) つまみ菜・間引き菜には使用しないこと。
- (4) 本剤をセル苗に使用する際は、調製液をセル成型育苗トレイまたはペーパーポット上方から灌注すること。また、本剤が土壤に十分に吸収されないおそれがあるので処理直前や直後の灌水はさけること。なお、高温時など極度に土壤が乾燥している場合には、葉縁が退色するなど薬害を生じるおそれがあるので、本剤を処理する予定の苗は、適切な水分および温度管理に努めること。
- (5) かんきつの苗木に用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して使用すること。なお、本剤を処理してから効果を発揮するまでにある程度の期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に処理すること。
- (6) 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落とすこと。
- (7) 水耕栽培に使用する場合、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理すること。
- (8) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (9) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - 1) ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - 2) 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供しミツバチの危害防止に努めること。
- (10) 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理すること。
- (11) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法-----

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
- (2) 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のないものが使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨-----

- (1) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 散布後は水管理に注意すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----

通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項-----

直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。